

平成 17 年度細菌検査報告

細菌科

当科で実施した食品の細菌検査の件数を表 1 に示す。県内一般食品業者からの委託に加えて、FAZ に関係した冷凍食品等の検査及び対 EU 輸出水産食品の残留動物医薬品等のモニタリング検査を実施した。

次に、臨床材料由来の細菌検査を表 2 に示した。委託検査は感染症発生動向調査事業における病原体検査で糞便・咽頭ぬぐい液等の分離同定検査が主であった。行政検査では保健所からの依頼により食中毒発生時のセレウス菌および黄色ブドウ球菌の分離同定、および毒素遺伝子の遺伝子増幅検査等を実施した。また食中毒由来のサルモネラ属菌の血清型別を実施した。

表 1 食品等の細菌検査件数

検体数	一般細菌数	大腸菌群 (含E.coli)	黄色ブドウ球菌	サルモネラ	カンピロバクター	腸炎ビブリオ	病原大腸菌 O157	残留動物用医薬品	その他
魚介類とその加工品	37	7	13	5		6		60	
食肉とその加工品	34	23	19	13	13	5	3		クロストリジウム 1
乳とその加工品	8	8	8	2			2		
冷凍食品	10	10	10			5			
複合調理食品	4	4	4	3					
菓子類	15	14	15	14					セレウス 4
容器包装詰加圧加熱殺菌食品	4								恒温試験細菌試験 4
香辛料	1	1	1	1					
清涼飲料水	2		2						
計	115	67	72	36	15	13	5	60	

表 2 平成 17 年度月別細菌検査件数（臨床材料由来）

検査項目	月												計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
赤痢菌	0	9	13	14	14	15	16	13	13	19	14	27	167
チフス菌	0	9	13	14	14	15	16	13	13	19	14	27	167
パラチフス菌	0	9	13	14	14	15	16	13	13	19	14	27	167
サルモネラ菌	0	9	13	14	14	15	16 4	13	13	19	14	27	167 4
コレラ菌	0	9	13	14	14	15	16	13	13	19	14	27	167
腸炎ビブリオ	0	9	13	14	14	15	16	13	13	19	14	27	167
腸管出血性大腸菌	0	9	13	14	14	15	16	13	13	19	14	27	167
下痢原性大腸菌*1	0	9	13	14	14	15	16	13	13	19	14	27	167
カンピロバクター	0	9	13	14	14	15	16	13	13	19	14	27	167
黄色ブドウ球菌					12								12
セレウス菌					12								12
溶血性連鎖球菌	0	1	1	1	2	1	1	3	2	2	2	3	19

*1 腸管出血性大腸菌を除く

上段：委託
下段：行政